



自由と平和をつらぬいて100年

日本共産党

市議選に

上田由美子さん

を擁立



Facebook



女性活躍の場をひろげよう

2年に及ぶコロナ禍のもと、多くの市民が生活の困難を抱えておられます。苦難軽減のために、日本共産党の砂田喜昭市議の議席を引き継ぐ決意を固めました。

ロシアのウクライナ侵略に心が痛みます。戦争は国連憲章違反です。戦争をさせない日本国憲法を活かした外交と国づくりが大切だと思います。

ごあいさつ

ジェンダー平等社会をめざし、女性活躍の場を広げたいと思います。市民の要望を聞き、その実現のために力をつくします。どうぞよろしくお願いいたします。

上田由美子さんの主な経歴

- 1954年生まれ 68歳
- 1976年金沢大学法文学部卒
- 【職業】社会保険労務士、行政書士
- 【現在の役職】日本共産党呉西地区委員、党市ジェンダー平等委員長
新日本婦人の会小矢部支部長
- 【経歴】元・富山県男女共同参画推進員、元・市女性議会議員(第3期)。県議選に2度立候補

上田由美子さんを推薦します

私のバトンを託せる人

市議会議員 砂田喜昭



上田由美子さんは市民の暮らしに根ざした活動を、永年続けしてきた方です。私は36年間の議員活動で、上田さんと力をあわせ、多くの成果を上げることができました。元氣なうちに私のバトンを後継者に託したいと願っていたところ、上田さんに決意してもらえました。皆さんの願いに必ず答えてくれると確信しています。私も上田さんを支えて頑張る決意です。

自立心と熱い心で頑張る人

金沢大学で同じ下宿にいた友人

谷口恭子さん(野端在住)



上田由美子さんは親の仕送りなしで大学を卒業しました。自分のできることは人に甘えず、精一杯自分の力でやろうとする自立心と意志の強さを持つ、人間としても女性としても希有的人です。だれもが、人として生き生きと生きるこことができるように、その条件をばらばらものを冷静に見つめ、ひとつひとつを着実に改善へと進めていく実践者です。あわてず、さわがず、でも、現実をしっかりと変えていく確かな見通しと実行力、多くの実績を重ねてきました。文化活動にも積極的で県内全域の歌声を愛する人々の活動を支えているのも上田さんの行動力の大きさです。

今までのこと

上田由美子さんが取り組んだこと

「国保税が高い」。この願いにこたえて小矢部市では引き下げを求める署名運動が取り組まれました。35年前(1987年)のことです。上田由美子さんは夫とともに世話人として4762名の署名を集めました。これが国保税引き下げ運動の原点です。

子ども均等割の免除を

今この運動は、国保税子どもの均等割(一人約3万円)の免除を求める運動に引き継がれています。国もようやく小学校入学前の子ども均等割の半額免除に踏み出しました。これをチャンスに、18歳までの国保税均等割免除を実現させましょう。

子ども医療費無料化

上田由美子さんは早くに夫と死別、ひとり子育てをしてきました。「ひとり親家庭の医療費無料制度はいへんありがたかった」と語る上田さん。すべての子育て世代に「医療費の苦勞をなくしても良い社会を」と願い、頑張りました。

新日本婦人の会で

毎年市長に要望

新日本婦人の会の活動の中心となつて、毎年のように市長に要望、その結果、小矢部市では県内ではいち早く小学校入学前医療費の無料化が実現し、その

通院も18歳まで無料に

対象年齢を引き上げました。病院・医院の窓口で立て替え払いしなくても良い窓口無料制度も、小矢部市内で、次いで呉西地域で、そして今年から県内全域で実現しました。いま上田さんは、人口減少社会を乗り越えるためにも子育て支援力を入れます。通院医療費も18歳まで無料に、石川県でも窓口無料にと運動しています。子どものインフルエンザ予防接種助成の拡充も求めています。

ジェンダー平等社会へ

上田由美子さんは子育て、仕事、家事をやりながら、これらの活動を黙々とこなしてきました。その願いは、男性、女性の枠を超えてそれぞれの個性が生かせる社会、ジェンダー平等社会をめざすことです。

不可欠です。男性も育児休業を活用できるようにして、女性が社会進出しやすい社会をめざします。

生理用品配備

県内で初



学校や公共施設のトイレに生理用品配備も県内で初めて実現させました。

中小企業や働く人たちを支えて

上田さんは高岡民主商工会で中小企業の暮らしと営業を守る仕事をしながら、社会保険労務士、行政書士の資格を独学で取得しました。業者のお困りごとに親身に相談に乗り、コロナ禍でたいへんな思いをしている業者に雇用調整助成金の活用を手助けしたり、中小企業で働く人の労働時間をしっかり管理しサービス残業にならない仕組みをアドバイスしたりしてきました。

男女の賃金格差是正へ

女性活躍の場を広げるには、男女の賃金格差の是正、非正規で働く人にも最低賃金の引き上げが

2022年5、6月号外

発行 日本共産党小矢部市委員会
小矢部市七社245 ☎67-4322

日本共産党小矢部市委員会の見解を紹介します。

明るい小矢部